

東京湾海況情報 R07-3

東京湾水質調査結果 (令和7年6月)

(令和7年7月1日発行)

千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 〒 293-0042 富津市小久保 3091
 TEL 0439-65-3071
 E-mail futtsusokuho@pref.chiba.lg.jp
 千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 6/2 ふさみ丸 (内房海域), 6/3 ふさなみ (内湾), 関東・東海海況速報

6月2日, 3日にふさみ丸, ふさなみで行った東京湾水質調査結果をお知らせします。

【水温・塩分】

表層水温は内湾で18~19℃, 内房海域で18~21℃と, 内湾, 内房ともに最近10年間の平均値並~3℃程度低い状況でした。表層塩分は内湾で25~32, 内房海域で31~34と, 内湾, 内房ともに最近10年間の平均値並でした (図1~3, 表1)。5月下旬に吹いた北風の影響により, 内湾では底層水が湧昇する現象がみられました。

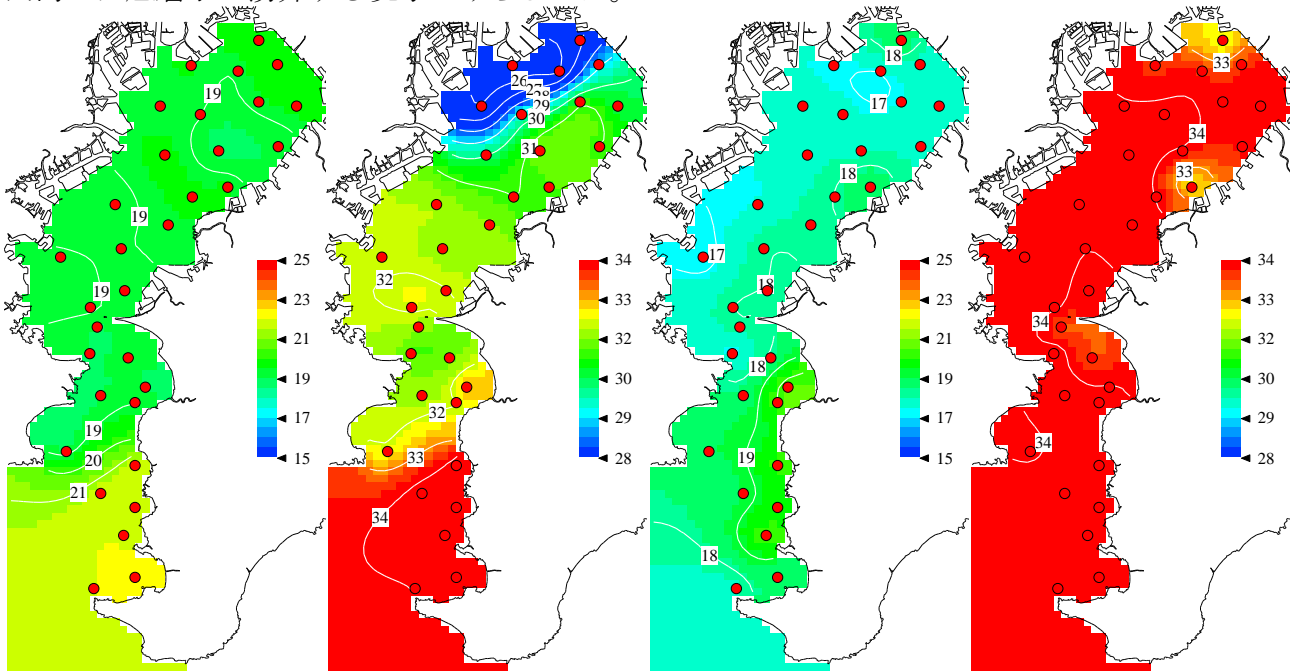
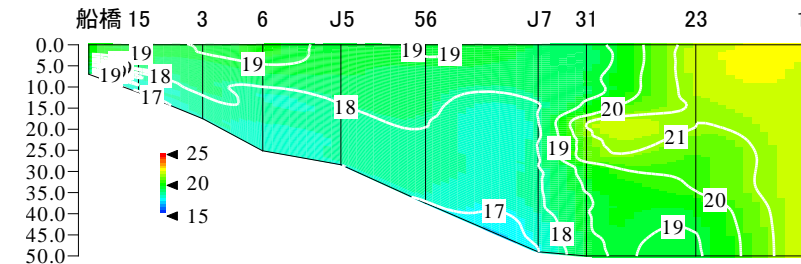


図1 表層の水温・塩分

図2 底層の水温・塩分

水温



塩分

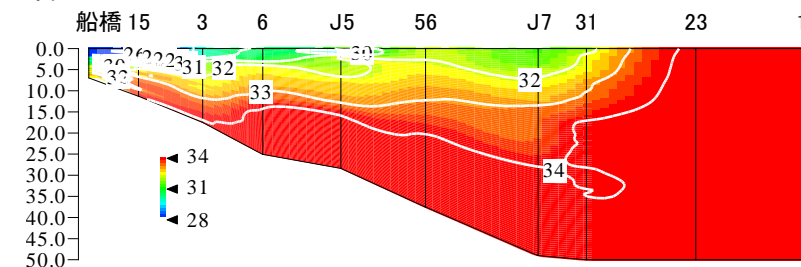


図3 縦断面の水温・塩分

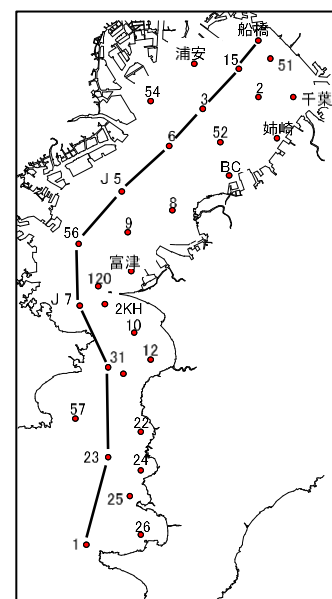


図4 水質調査点
(実線は調査ライン)

【赤潮】

透明度は内湾で 2.3～12.0 m，内房海域で 5.0～18.0m でした (図 5)。植物プランクトンの指標となるクロロフィル a 濃度は，内湾で 5 $\mu\text{g/L}$ 以下～16 $\mu\text{g/L}$ ，内房海域で 5 $\mu\text{g/L}$ 以下でした (図 6)。赤潮は確認されず，プランクトンの優占種は，珪藻スケルトネマ属などでした。

千葉県の赤潮の目安

色	オリーブ～褐色
酸素飽和度	150% 以上
透明度	1.5 m 以下
pH	8.5 以上
クロロフィル a	50 $\mu\text{g/L}$ 以上

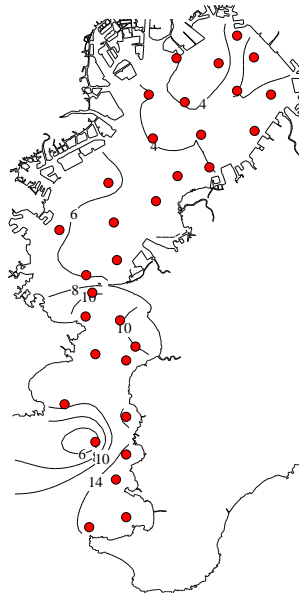


図 5 透明度

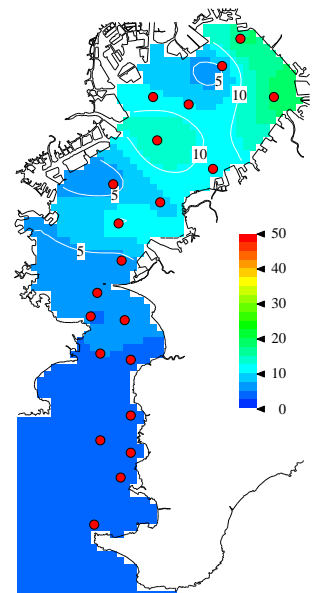


図 6 クロロフィル a 濃度

【貧酸素水塊】

貧酸素水塊は内湾北部の水深 10～20m の海域に分布していました (図 7, 8)。

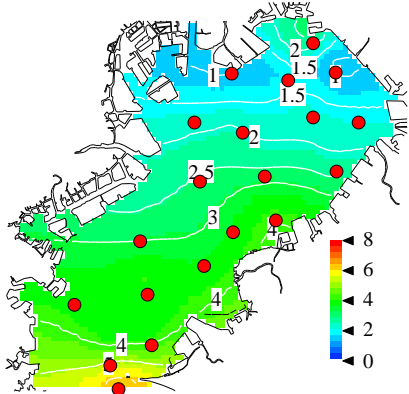


図 7 内湾底層の溶存酸素量 (ml/L)

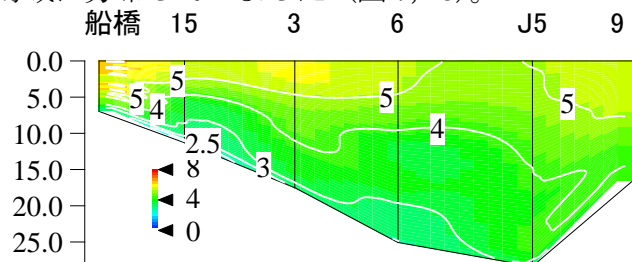


図 8 内湾縦断面の溶存酸素量 (ml/L)

貧酸素水の基準

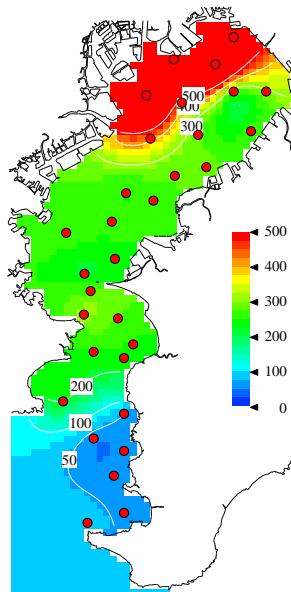
溶存酸素量	2.5 ml/L 以下
酸素飽和度	50% 以下

【栄養塩】

表層の窒素 (DIN) は内湾で 204～901 $\mu\text{g/L}$ ，内房海域で 32～266 $\mu\text{g/L}$ でした。表層のリン (DIP) は内湾で 14～88 $\mu\text{g/L}$ ，内房海域で 5 $\mu\text{g/L}$ 以下～25 $\mu\text{g/L}$ でした (図 9)。

最近 10 年間の平均値と比べて，窒素は全域で多く，リンは内房南部海域を除いた全域で多い状況でした (表 1)。

DIN



DIP

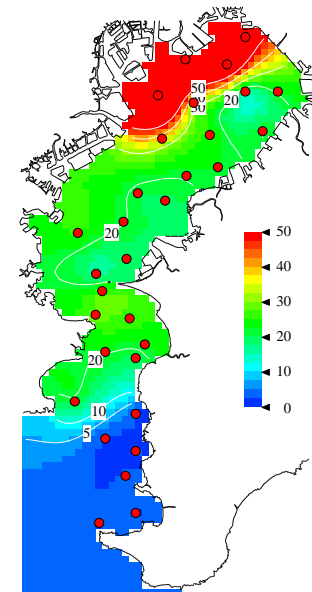


図 9 表層の栄養塩濃度 ($\mu\text{g/L}$)

【黒潮】

黒潮はB型流路でした。黒潮は房総半島の沖を流れており、東京湾口への波及はみられませんでした(図10)。

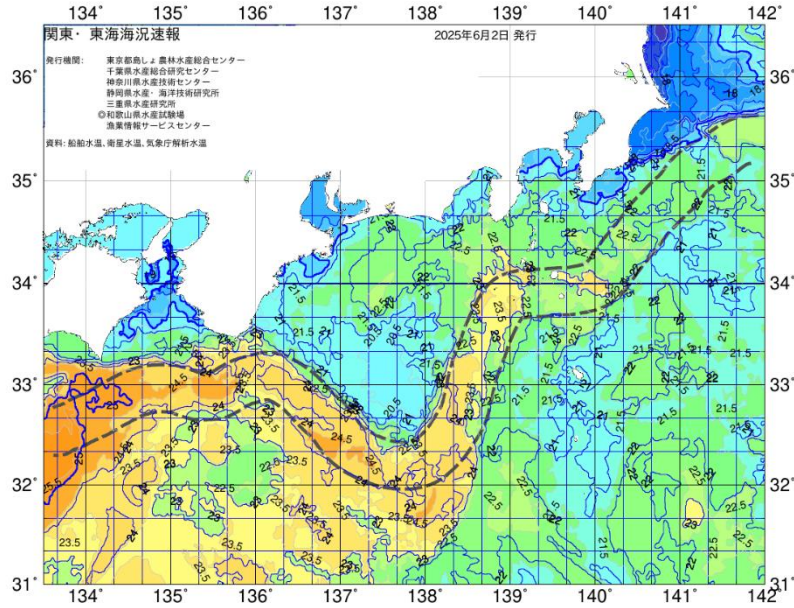


図10 黒潮の動き(令和7年6月2日)

表1 主な調査点の水質調査結果(表層, 溶存酸素量のみ底層)
():最近10年間の平均値(2015~2024年)

調査点	水温(°C)	塩分	透明度(m)	pH	溶存酸素量(ml/L)	アンモニア態窒素(μg/L)	溶存無機態窒素(μg/L)	リン酸態リン(μg/L)	クロロフィルa(μg/L)	
内湾	船橋	19.6 (22.4)	26.8 (27.5)	3.5 (2.1)	8.6 (8.6)	2.7 (2.5)	104.9 (82.9)	670.5 (171.0)	58.9 (21.2)	16.1
	st.15	19.0 (22.3)	25.9 (27.8)	5.0 (2.4)	8.5 (8.7)	1.3 (1.3)	176.9 (48.8)	854.9 (150.8)	69.1 (15.4)	4.7
	st.3	19.0 (21.9)	29.4 (28.7)	4.0 (3.1)	8.6 (8.6)	2.0 (1.1)	31.7 (26.3)	441.7 (72.1)	34.1 (5.9)	8.5
	st.6	19.3 (21.5)	30.0 (29.3)	3.8 (3.7)	8.5 (8.5)	2.4 (2.0)	46.6 (55.6)	408.8 (231.4)	34.8 (12.9)	13.4
	st.9	19.0 (21.4)	31.6 (30.9)	4.3 (4.0)	8.6 (8.5)	3.8 (3.2)	39.1 (30.0)	247.7 (55.5)	20.2 (5.8)	10.3
	st.BC (盤洲Cブイ)	19.2 (22.1)	31.1 (29.8)	4.0 (3.7)	8.6 (8.5)	3.7 (2.8)	33.2 (34.4)	275.3 (72.8)	21.1 (11.2)	8.9
	st.8 (盤洲A南)	19.2 (21.5)	31.5 (30.7)	5.0 (3.6)	8.6 (8.4)	3.2 (2.6)	41.1 (31.3)	256.0 (58.2)	18.1 (8.4)	7.5
	富津	18.8 (21.1)	32.0 (31.4)	5.0 (3.5)	8.5 (8.4)	3.5 (3.3)	41.3 (50.5)	223.9 (87.9)	16.8 (9.5)	3.8
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	18.7 (20.5)	31.5 (31.4)	10.0 (3.6)		6.1 (5.2)	85.7 (14.7)	266.1 (51.7)	25.7 (2.4)	2.8
	st.31	18.7 (20.2)	31.7 (31.4)	11.0 (4.9)		6.7 (4.7)	71.8 (13.9)	235.7 (38.8)	20.3 (2.4)	2.7
	st.23	21.6 (20.8)	34.3 (33.4)	5.0 (8.6)		6.8 (5.0)	25.1 (7.2)	32.7 (14.6)	0.0 (1.1)	0.5
	st.1	21.8 (20.4)	34.0 (34.1)	15.0 (11.9)		6.4 (4.9)	62.9 (15.4)	73.0 (28.4)	0.0 (1.0)	0.6
	st.10 (下洲沖)	18.8 (20.8)	31.3 (31.5)	10.0 (3.8)		6.5 (5.8)	79.7 (10.8)	262.5 (27.0)	24.8 (1.8)	2.7
	st.12 (湊沖)	18.6 (20.9)	32.6 (31.8)	10.0 (4.6)		7.0 (5.6)	70.2 (10.3)	232.7 (20.3)	21.4 (1.7)	
	st.22 (保田沖)	21.6 (20.7)	34.3 (33.5)	16.0 (7.3)		7.0 (5.4)	36.9 (6.2)	46.4 (29.4)	0.0 (3.5)	0.7
	st.24 (富山沖)	21.7 (20.6)	34.3 (33.9)	16.0 (9.7)		6.8 (5.3)	25.2 (4.9)	33.0 (9.5)	0.0 (0.4)	0.6
	st.26 (館山湾内)	21.9 (20.6)	34.4 (34.2)	17.0 (10.6)		6.6 (4.9)	36.8 (5.5)	42.0 (11.1)	0.0 (0.8)	

注) ※ 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示します。